

毛管現象 (capillary phenomenon)

一般によく見かける毛管現象は、毛細管のような狭い隙間を液体がはい上がる現象である。液体と管壁の引き合う力が、液体分子同士が引き合う力より大きいとき、液体は管壁とより多く接触しようとするため毛細管の中に入っていく。紙や布を水につけた時に水が吸い上げられるのは、毛管現象の一例である。一方、液体と管壁の間の引力が液体同士の引力より小さいときには、管壁との接触を避けるようになるため、液体は毛管の中に入りにくくなる。これもまた、毛管現象のひとつである。

(佐藤)